

# 船井情報科学振興財団 ポスドク報告書

森亮

ローレンスバークレー国立研究所/カリフォルニア大学バークレー校に所属しています森です。ポスドク生活について所感を報告します。

## 1. 日々の生活

雑多な事情を鑑み、PhD 取得後もバークレー近辺にしばらく残ることを決心した私ですが、すでに慣れ親しんだ街なので特に激しい変化もなく、平和に過ごせています。ご多聞に漏れず、コロナウイルス流行で私も在宅ワークが増え、無駄なミーティングに割く時間が増えました。

## 2. 研究について

ポスドクらしく研究についてかっこいいことを語ろうと思います。PhD 過程と同じく、研究したものについては基本的に論文を書かねばいけません。むしろポスドクこそ論文を出さねばいけません。論文を書き、いざ投稿すると（この段階は論文誌に依りますが）まず論文誌の編集者に無慈悲なチェックをされ、編集者が「いいねえ、コレ」とオッケーを出すと投稿した論文はいよいよ査読者という名の殿上人の手元へ流れ着きます。そして査読というプロセスを経て、晴れて論文は世に出ることになります。

基本的に査読者は複数人いて、reviewer#1, reviewer#2, …などという無個性なハンドルネーム(?)が割り当てられます。この匿名性を纏ったモンスター達は、例えその論文がどんなに苦勞してどんなに長い時間がかかったものだろうがまるで意に介さず、暴君のごとく無慈悲で残酷なコメントを残します。建設的なコメント（修正した方がいい点や、疑問点など）がもちろん多数なのですが、時には「コレ、面白くないよね」「他のもっと専門的な論文誌に出せば?」「新規性に欠ける」「つまらない」「誇張しすぎ笑」「つまらない」というような、奴らのお気持ち次第なコメントで徹底的に投稿論文を否定してきます。このポリティカルコレクトネスの蔓延った社会において、こんなに面と向かって否定されることって多分あまりない。メンタルに直接突き刺さるロングユースの槍（しかもなんか抜けない）。という前置きを踏まえて、私が言いたいことは兎に角コレです：

**Reviewer#2、おまえだけは絶対に許さない。**

不思議なことに、毎回毎回 reviewer#2 が一番ムカつくコメントを残し、一番否定してきます。もちろん同一人物なわけではなく、番号もランダムに割り振られるのですが、なぜか高頻度で reviewer#2 がパンチ力を持って意気揚々と殴りにかかってきます。「(具体的な根拠は言わないけど、) つまらな  
いし新規性に欠けるし、ぜんっぜんダメ。いやほんとダメ。最後にもう一回いうけど、ダメだよ」  
と。

これは一体どういうことなんだぜ? と思い調べてみたところ、どうやら meme になっているほど一般的な現象のようで、論文にもなっていました ([D.A.M.Peterson, Dear Reviewer 2: Go F' Yourself, Social Science Quarterly 101: 1648-1652 \(2020\)](#)) (ちなみにこの論文によると、実際のところ reviewer#2 は問題ではなく、reviewer#3 がク●野郎なことが多い、らしいです。そう言われてみれば確かに結局最後までネチネチ何かとイチャモンつけてくるのは reviewer#3 な気がします。というかこの論文の査読者はどういう気持ちで査読したのだろうか。)

こういう理不尽な査読者に対して、「てめーは俺を怒らせた」というエキサイトした状態でオラオラと返答を書きたいところですが、確実に負けるし実りはないので、何はともあれ理不尽に耐えながら、礼儀正しく、というよりは時には「御査読者様ア〜! コメント、ありがとうございます!! 圧倒的感謝!! 万歳! 万歳!」と媚び諂いながらお丁寧に返信を書いていきます。きっとこの reviewer#2 へのやりきれない気持ちが溜まりに溜まり、さらなる reviewer#2 を生み出しているカルマに僕たちは閉じ込められているのかもしれない。

こういった査読への返答する作業がとても辛く、ごっそりと気力が削り取られます。というのは、毎回毎回ファイルを開くたびに否定コメントを読まねばならず、魂をゴリゴリと削ってくるからです。アカデミアで生きていくということはコレを一生やり続けるのか…と思うと先人の皆さんへのリスペクトが高まります。平和な世界で生きていきたいものです。

さて、研究についてかっこいい事を述べるつもりが、ただの reviewer#2(と#3)への毒を連ねただけになった報告書ですが、おそらく誰かしか同意してくれるだろうと願います。

P.S.

世の中の reviewer#2-#3 の皆さん、すいません、上記は全部冗談だし本当は皆さんのこと大好きなので僕の論文通してください、へへエ (媚び諂い)。